

数学C 学習指導案						
学 級	6年3・4組 (後期課程)		教室	444教室	指導者	
単 元	第2章 式と曲線		教科書	改訂版 新編数学C (数研出版)		
指 導 目 標	1 放物線、楕円、双曲線を点の軌跡として定義し、各曲線の方程式の求め方と特徴を理解させる。		指 導 計 画	1 放物線・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間 (本時)		
	2 x, y についての2次式で表される曲線を平行移動することによって、その曲線の性質を明確にさせる。			2 楕円・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間		
3 放物線、楕円、双曲線の接線の一般形の求め方を理解させる。				3 双曲線・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間		
				4 2次曲線の平行移動・・・・・・・・・・ 1時間		
				5 2次曲線と直線・・・・・・・・・・ 2時間		
本 時 の 指 導 過 程	主題	放物線の方程式				
	目標	1 放物線を点の軌跡として定義し、用語を理解させる。 2 放物線の性質を理解させ、応用問題に対応させる。				
	課題	身近にある放物線について考えてくる。				
	学習内容		時間	指導上の留意点	資料・評価の観点等	
	導 入	1 紙を折り、放物線の性質を発見する。	10	・準線と焦点から放物線の性質に気付かせる。	・学習プリント ・意欲的に活動できている。 〈関心・意欲・態度〉	
	展 開	1 放物線の方程式を導く。 2 y 軸が軸となる放物線について考える。 3 放物線の性質を用いた応用問題を解く。	10 8 20	・定義に従い、点の軌跡により、方程式を導かせる。 ・標準形と $y=x$ に関して対称移動したものであることを利用させる。 ・放物線の軸に平行に入射した光線が焦点を通ることに気付かせる。	・軌跡の考えを利用して、放物線の方程式を導くことができる。 〈数学的な見方や考え方〉 ・焦点や準線を求めることができる。 〈表現・処理〉 ・学習プリント ・放物線の性質を利用して問題を考えることができる。 〈数学的な見方や考え方〉	
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。	1 1	・放物線用語を確認させる。	・放物線の用語が定着している。 〈知識・理解〉		
備 考	理型 生徒数 27 名 (男子 12 名, 女子 15 名)					